

あいち海上の森センターの業務

海上の森保全活用計画

あいち海上の森センターでは、具体的に業務を進めるにあたって、「あいち海上の森条例」に基づき、概ね平成27年度を目標とした保全活用計画を作成しています。取組内容は次のとおりです。

<海上の森保全計画取組内容>

愛知万博記念の森としての保全

自然環境の保全

希少動植物およびその生息環境等について調査。状況変化の把握と情報整理・発信

森林整備

若年の人工林は間伐中心。高齢林は資源利用も考え、“百年の森”に整備

農地整備

体験学習の場として活用しつつ、里山環境を維持保全するため維持管理

森林や里山の学習と交流の拠点作り

体験学習の実施

幅広い角度から体験を通じた学習事業を重点的に展開

人材育成

持続可能な社会づくりや身近な自然の保全について、自ら考え行動できる人を育成

普及・情報発信

森林整備や里山保全の理解醸成、実行モデルの発信、関係施設や機関との連携

施設の設備と運営

施設の適正な管理と、協働による運営

協働・連携の推進

海上の森の会

広く県民の方が参加する組織であり、協働をさらに進展

地域・学校

地元地域、瀬戸市、小中高等学校・大学などとの連携を強化

企業等

企業や関連施設、団体等の取組との連携を推進

業務内容

希少動植物調査
森林モニタリング

森林の整備

人工林の間伐
針広混交林の手入れ
雑木林の保全・竹林の整備

農地の整備

農地の維持管理
水路等の整備・草地管理

自然環境の保全

体験学習の実施

森の教室・里の教室・里山のものづくり
海上の森ツアー・調査学習会

人材の養成

あいち海上の森大学
人と自然の共生国際フォーラム

普及・情報発信

自然関係施設・団体連絡会議

施設整備と運営

事業幼稚管理・施設修繕
林道、歩道の維持補修

協働・連携の推進

海上の森の会との協働・企業連携
教育学校機関・地元・EXPOエコマネー

